

健康にやさしい・土壌にやさしい

うちの野菜屋さん

15-15-10

ジャガイモ

元肥 7kg/a
追肥 2kg/a

葉菜

元肥 10-5kg/a
追肥 2kg/a

ネギ

元肥 7kg/a
追肥 2kg/a

ニンジン

元肥 7kg/a
追肥 1kg/a

アスパラガス

元肥 6kg/a
追肥 3kg/a

サトイモ

元肥 8kg/a
追肥 7kg/a

トウモロコシ

元肥 6kg/a
追肥 2kg/a

ダイコン

元肥 5kg/a
追肥 5kg/a

トマト

元肥 10kg/a
追肥 1kg/a
(7日毎)

キュウリ

元肥 10kg/a
追肥 2kg/a
(7日毎)

ナス

元肥 15kg/a
追肥 2kg/a
(7日毎)

15 kg

土づくりのポイント

●完熟堆肥の施用

有機物（完熟堆肥など）の施用効果

- 1) 化学的改良…土の保肥力が増大し、雨水による養分の流亡を少なくし、安定的に肥料養分を供給することができます。
 - 2) 物理的改良…土の通気性・透水性・保水性・排水性が良好になります。
 - 3) 生物的改良…作物に対して有害な病原菌が極端に増殖することを防ぎ、安定的な生物生産が可能となります。
- 一般的な完熟堆肥の施用量は、200kg/aです。

●pHの矯正

土壌のpHは作物により異なりますが、おおむねpH5.5～7の範囲にあります。この範囲からずれている場合は土壌pHを矯正しなくてはなりません。苦土石灰でpH1単位上げる場合は、12kg/aが必要です。

※苦土石灰は、施肥の7～10日前に単独で施用し土壌と十分に反応させておいて下さい。

元肥・追肥の施肥例

作物	元肥(kg/a)	追肥(kg/a)	追肥の間隔(日)・回数(回)	露地栽培の栽培期間
キュウリ	10	2	7日おき適宜	4～10月
トマト	10	1	7日おき適宜	4～8月
ナス	15	2	7日おき適宜	4～10月
ピーマン・シシトウ	14	2	7日おき適宜	4～9月
カボチャ	8	2	着果後 2回	5～8月
スイカ	2	1	着果後1～2回	5～8月
春ハクサイ	14	1	2～3回	3～6月
秋ハクサイ	16	2	2～3回	9～11月
春キャベツ	8	2	2～3回	3～6月
秋キャベツ	12	3	2～3回	9～11月
春レタス	9	1	1～2回	3～5月
秋レタス	12	1	1～2回	9～11月
春ホウレンソウ	7			4～6月
夏ホウレンソウ	5			6～7月
秋ホウレンソウ	9			9～12月
ブロッコリー	12	3	1～2回	9～11月
アスパラガス	6	3	2～3回	
ネギ	7	2	5回	9～3月
ニラ	7	2	3～5回	6～11月
エダマメ	1	1	開花後1～2回	6～9月
ソラマメ	7	1	開花後2～3回	10～5月
オクラ	10	1	開花後3～5回	4～10月
サヤインゲン	6	1	開花後7～10回	4～10月
サヤエンドウ	8	2	収穫後10回	10～5月
トウモロコシ	6	2	2～3回	5～8月
春ニンジン	7			3～6月
夏ニンジン	5	1	1～2回	7～9月
ダイコン	5	2	2～3回	9～11月
ジャガイモ	7	2	1～2回	3～7月

地域・作型によっては、施肥量を加減して下さい。また、露地栽培の栽培期間は、関東地域の目安です。



注意

- 石灰等のアルカリ資材と接触するとアンモニアガスが発生することがありますので注意して下さい。
- 食べられません。幼児等の手の届かない所に保管して下さい。
- 微粉末が手等に付着して皮膚を荒らしたり、口や鼻から吸い込むことがありますので、取り扱いにはゴム手袋やマスクを使用して下さい。皮膚に付着した肥料はよく水で洗って下さい。眼に入った場合はすみやかに多量の水でよく洗浄してから医師の診断を受けて下さい。
- 保管は直射日光を避け、乾燥した涼しい所を選んで下さい。
- 金属を腐食することがあります。付着した場合は洗浄して下さい。
- 肥料の袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないで下さい。窒息するおそれがあります。
- 肥料用以外の用途には使わないで下さい。